

危機  
管理課

## 大規模災害時に備える

「災害時における物資の調達に関する協定」締結



木山市長(左)と瀬戸内カートン(株) 取締役工場長 吉村宏さん

市は、瀬戸内カートン株式会社(三原市)と「災害時における物資の調達に関する協定」を締結し、7月27日に締結式を行いました。

この協定は、大規模災害時の避難者の健康被害を予防することを目的としています。

不慣れた避難所での生活が長期化すると、避難者の身体に悪影響を及ぼすため、避難者が少しでも落ち着いて過ごせる環境を整備する必要があります。

今回の協定締結により、段ボール製のベッドや間仕切りを速やかに調達することが可能となり、避難所の環境改善や感染症の予防を円滑に行うことができるため、安心・安全な避難所運営につながることが期待されます。

高齢者  
福祉課

## 感染予防を行いながら再開！

シルバーリハビリ体操が地域で再開

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、シルバーリハビリ体操の活動をしばらく休止していましたが、感染予防対策を徹底した上で、体操教室や、各地域のサロン・デイホームなどで再開しています。

市は活動再開に当たり、シルバーリハビリ体操指導士会に対し感染予防講習会を実施し、感染症対策の実施や、参加者に対するチェックリストの活用、体操中の留意点を確認しました。現在、各地で3密(密閉・密集・密接)の回避や、マスクの着用、十分な換気、参加者同士の間隔の確保、熱中症予防などを行いながら、体操を実施しています。

また、指導士会では、今後再び地域での活動ができなくなったときに備え、参加者が自宅でも実践できるように、体操の手順を解説したリーフレットを作成し配布しています。

## 問い合わせ

高齢者福祉課地域包括支援センター係  
☎ 0824・73・1165

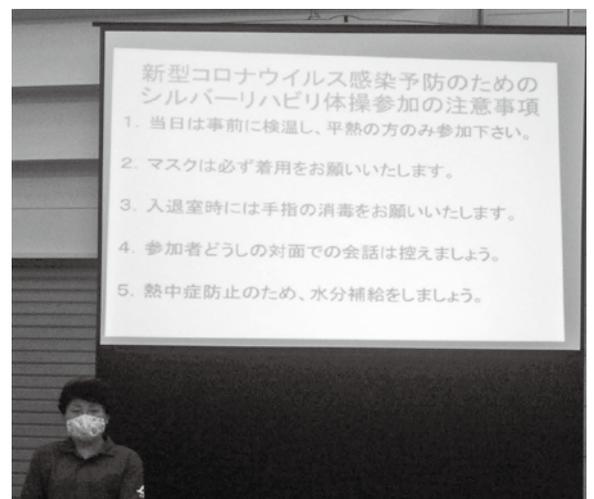


庄原市

シルバーリハビリ体操ロゴマーク



参加者同士の距離を保ち体操を実施



体操の前に感染症対策について説明

【参加者の声】

▼お休みの期間が長かったため、足腰が弱った。こうしてまた集まり、体操できることはうれしい。

▼久しぶりにみんなと会えて懐かしい気持ちになった。人と会って体を動かすと元気になる。

【指導士の声】

自粛期間中に足腰が弱り動かしづらくなる高齢者が多かったため、集まって体操することの必要性を感じた。感染防止に配慮して行うため、お互いが無理なくできる方法を考えていきたい。